

えひめゼロカーボン・ チャレンジ企業

CO2削減に向けた取組により、
販促・PRを強化

● 「えひめゼロカーボン・チャレンジ企業」 認定制度とは？

愛媛県では、「2050年までの脱炭素化宣言」に加えて、現状のCO2排出量を算定し、削減に向けた具体的な計画を定める県内事業者を「えひめゼロカーボン・チャレンジ企業」として認定します！

認定を受けた事業者には、多様なメリットを用意して、脱炭素化に向けた取組を後押しします。



● 認定のメリットは？

補助金や販路開拓支援など県事業
における採択審査時の加点

県発注の環境関連物品等の優先
的取扱い

県脱炭素化等資金融資制度に
おける優遇

県脱炭素ポータルサイト特設ページ
にて認定企業の取組を広く紹介

金融機関の環境関連私募債での
サポート

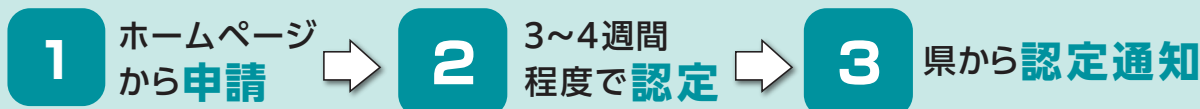
- ①伊予銀行「環境私募債」における優遇
- ②愛媛銀行「脱炭素実現私募債」における優遇

企業ホームページや
名刺等での認定ロゴ
マークの使用



● 企業認定の申請方法は？

専用入力フォーム(えひめ電子申請システム)から行います。



※専用入力フォームは…「えひめ電子申請システム」で検索

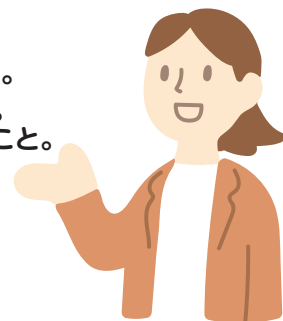
● 申請の費用は？ 申請は無料です。

認定制度の申請ができる事業者は、愛媛県内に事業所を有し、事業活動を行っている者のうち、次の要件を全て満たす者とします。

共通項目

この2項目は必ずクリアしてください。

- 県内における事業活動を2050年までに脱炭素化することを宣言していること。
- 事業活動を行う事業所における年間の二酸化炭素排出量を算出していること。
なお、複数の事業所を有する場合は、主たる事業所において取りまとめを行うこと。
(複数の事業所を有する場合は、全事業所数と取組事業所数を申請書に記載すること)



選択項目

次に、**1～15**の項目の中から**5つ以上**選択し、具体的な計画を策定します。

- 1** 【必須】日常利用するエネルギーの効率化・節約に係る取組
エアコンの適温設定、働き方改革(残業削減やリモートワークの推奨など)、こまめな消灯等
- 2** 省エネルギー設備の導入
高効率ボイラー、高効率空調機、インバータ付コンプレッサの導入、LEDへの切替等
- 3** 工場等における設備の運用改善
熱輸送配管の断熱強化、ポンプ・ファン・コンプレッサ等の使用端圧力の見直し等
- 4** 施設におけるエネルギー需要の抑制に資する取組
建物の断熱・遮熱、屋上や壁面の緑化、ミストシャワーの設置等
- 5** 業務・事業の効率改善に向けたデジタル化、DX化
エネルギーマネジメントシステム、需要予測システムの導入等
- 6** エコドライブに係る取組
急発進・急停止、無駄なアイドリングの回避、タイヤの空気圧の点検・整備等
- 7** 再生可能エネルギーの自社導入
自社における太陽光発電、蓄電池(再生設備との併用)の設置等の導入
- 8** 再生可能エネルギーの調達・活用
再生エネメニューへの切替、PPA、非化石証書購入
- 9** 電動車の導入(購入・リース等)
電気自動車、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、燃料電池車の導入
- 10** 廃棄物の発生そのものを抑える取組
紙帳票の電子化、製造歩留まり改善、購入量・発注量の最適化、リユース品の利用推奨等
- 11** リサイクルの促進に係る取組
再生処理業者の活用、リサイクル率の向上等
- 12** 環境に配慮した物品等の購入・使用に係る取組
グリーン購入、バイオマス原料の使用、再生鋼材の採用等
- 13** カーボンオフセット・クレジットの活用に係る取組
J-クレジットの購入、自社のCO2削減によるJ-クレジットの創出等
- 14** 従業員への環境教育や人材育成、組織体制構築に係る取組
定期的な環境教育、関連資格の取得、脱炭素推進に係る部署の設置等
- 15** その他、独自の取組
(環境保全活動や緑化活動への参加、企画等も含めて)

認定された後に認定書が発行されます



えひめゼロカーボン・チャレンジ企業 認定証

事業者名:
(登録№001)

標記事業者は、自社の事業活動における二酸化炭素排出量を把握するとともに、前向きにその削減に向けた取組を進めている「えひめゼロカーボン・チャレンジ企業」であることを証します。

令和7年 月 日
愛媛県知事 中村 時広

えひめゼロカーボン・チャレンジ企業の取組は、
県の脱炭素ポータルサイト特設ページで紹介します。

えひめゼロカーボン・チャレンジ企業認定制度推進事務局

電話:089-903-8999

所在地:松山市湊町7丁目7-1 セキ株式会社内
受付時間:(平日)午前9時~午後5時